

年組 年月号

# モラコミ通信!

保護者向けネットモラル・コミック



あなたのお子さんは、SNSを上手に使っているでしょうか。トラブルに巻き込まれ、一人で悩んでいないでしょうか。今回はSNSの特性と主に友だち関係での勘違いによるトラブル回避方法について考えてみましょう。

## 教えて！モラコ先生



### SNSの特性

テンポよく返信がある

文字による情報伝達が中心

主に短文のやりとり

互いの表情や口調、状況が分からない

**勘違いが起きやすくなる！**

モラコ先生「最近では、小学生低学年でもスマホの所持率が増加し、SNSを利用する子どもも増加しています。それに伴い、SNS利用によるトラブルも多く報告されています。中でも勘違いや誤解によるトラブルは、直接顔を合わせての日常のコミュニケーション以上に多いと考えられます。

息子さんの場合も、ちよつとした言葉の意味の取り違えなどにより、友だちとの関係がぎくしゃくしてしまっただのかもしれない。同じ言葉でも、人によっては受け取り方が違うことがあったり、

Q「息子は最近元気がなく、友だちとよくやっていたSNSをやめたりなくなりました。SNSでちょっとしたトラブルがあったようですが、息子に聞いても生返事ばかり…。うじめにならないかと心配です。どうしようか?」(スマスマママ)

モラコ先生「最近では、小学生低学年でもスマホの所持率が増加し、SNSを利用する子どもも増加しています。それに伴い、SNS利用によるトラブルも多く報告されています。中でも勘違いや誤解によるトラブルは、直接顔を合わせての日常のコミュニケーション以上に多いと考えられます。

### スマホのトラブル、どんな目にあってるの?

n=2000

- 5.9% SNS等が原因で友だちとトラブルになった
- 3.3% メールが原因で友だちとトラブルになった
- 2.5% メールで誹謗中傷等を受けた

トラブルの上位3つは勘違いが原因かも?

- 2.5% 身に覚えのない料金請求のメールが届いた
- 1.7% 有料ゲーム利用で多額の請求が届いた
- 1.2% ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等していた
- 3.1% その他
- 16.7% トラブルにあったかどうかわからない
- 69.2% トラブルにあったことはない

※参考文献：『家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査結果報告書（概要版）（令和元年 東京都）』

一般的には誉め言葉であっても、人によっては言われたくない言葉であったりするからです。

「まず子どもに理解させたいことは、SNSでは、たとえ悪気がなくても勘違いが起きる可能性がある」ということを前提に利用する。

・勘違いを少しでも減らすために、「返信する前に、相手の状況を想像しながら、もう一度メッセージを読み直す」という習慣をつける。

また、万一誤解されたと思っても、自分の正当性を強く主張したり相手を非難したりすると、かえって状況が悪化することが多いものです。相手のメッセージの内容が正確に理解できないときは、善意に解釈し、前向きに返事を返す「ポジティブフィードバック」を心がけることも大切です。

### SNS 保護者の取組み4か条

- 子どもにSNSを利用させる前に、SNSの特性をよく理解する
  - 日頃の何気ない会話を大切にし、子どもの様子を注意深く見守る
  - 必要に応じて時間を割いて子どもと話し合う
  - 必要に応じて（トラブルになった）相手の保護者や学校などと相談する
- 子どもにとってSNSの利用は、今後社会に出ても必要なスキルです。家族でSNSの特性を理解し、些細なトラブルでもみんなで解決策を考えていくことでスキルアップが図られ、より有効的にSNSを利用できるようになることでしょう。

KEIRIN この事業は、競輪の補助を受け実施しました。

参考サイト▶ ネット社会の歩き方 <http://www2.japet.or.jp/net-walk/>

一般社団法人日本教育情報化振興会 info@japet.or.jp

Copyright(C) Japan Association for Promotion of Educational Technology (JAPET & CEC)



